

平成30年度 松山市廃棄物処理施設審議会  
第1回技術検討部会（午前の部）議事要旨

日 時 平成30年11月20日（火）9：00～11：30

場 所 KH三番町プレイス 4階研修室

## 1. 出席者

委 員：島岡部会長，山中副部会長，高橋部会員，東條部会員

事務局：環境部 大西部長，中島副部長

廃棄物対策課 門田課長，和泉工事担当課長ほか 全12名

## 2. 議題

- (1) 工事完成の報告
- (2) 技術提案の履行報告
- (3) ソイルセメント壁の品質管理
- (4) 地下管路閉塞工の実施報告
- (5) キャッピング工に関する報告
- (6) 保有水位に関する報告
- (7) 水処理に関する報告
- (8) 工事完了後のモニタリング計画

## 3. 議事要旨

事務局から各議題について説明を行い，部会員と以下のやりとりが行われた。

### (1) 工事完成の報告

工事が予定よりも早く完成した要因について質疑応答があったが，特に問題点等の指摘はなかった。

### (2) 技術提案の履行報告

技術提案の内容について質疑応答があったが，特に問題点等の指摘はなかった。

### (3) ソイルセメント壁の品質管理

ソイルセメントのボーリングコアの保管方法等について質疑応答があり，今後可能であればボーリングコアの透水試験を実施することが望ましいとの助言をいただいた。

### (4) 地下管路閉塞工の実施報告

閉塞材が地下管路等に充填されたことを判断する基準等について質疑応答があったが，特に問題点等の指摘はなかった。

### (5) キャッピング工に関する報告

埋立地への降雨と浸出水発生量の関係性に関する質疑応答があり，降った雨が埋立地に浸透した量，浸透せず表流水となって流れ出た量，蒸発した量などをできるだけ把握し，キャッピング工の効果を確認するためのモデルを構築することが望ましいとの意見をいただいた。

(6) 保有水位に関する報告

カーテングラウトを抜けて遮水壁内に流入する地下水量等に関する質疑応答があり、保有水と地下水の水質から、希釈倍率を用いて流入量を把握してはどうかとの助言をいただいた。

(7) 水処理に関する報告

水処理施設の運用方法に関する質疑応答があり、原水水質の状況に応じて不要な設備をバイパス運転するなど、今後はコスト面を考慮した運転を検討していくことが望ましいとの意見をいただいた。

(8) 工事完了後のモニタリング計画

今後のモニタリング計画に関し、処分場の廃止に向けたモニタリング内容を早期に整理する必要があるとの意見をいただいた。

※公開の判断理由(松山市情報公開条例第7条第3号)

本部会では、公開することにより、当該法人等の権利、競争上の地位その他正当な利益を害すると認められるため、それらの情報を除いた情報を公開する。

平成30年度 松山市廃棄物処理施設審議会  
第1回技術検討部会（午後部）議事要旨

日時 平成30年11月20日（火）13：30～15：00

場所 ㈱レッグ産業廃棄物最終処分場 対策工事現場事務所

## 1. 出席者

委員：島岡部会長，山中副部会長，高橋部会員，東條部会員

事務局：環境部 大西部長，中島副部長

廃棄物対策課 門田課長，和泉工事担当課長ほか 全10名

傍聴者：1名

## 2. 議題

- (1) 工事完成の報告
- (2) 水質等モニタリング結果の報告
- (3) 処分場視察

## 3. 議事要旨

事務局から各議題について説明を行い，部会員と以下のやりとりが行われた。

### (1) 工事完成の報告

特に意見や指摘はなかった。

### (2) 水質等モニタリング結果の報告

- ・ 処分場下流域の生活用水井戸の水質検査項目について質問があり，処分場から流出した灰濁水の水質検査で，過去に基準を超過したことがある水銀，ヒ素，鉛に加え，農作物の生育や水生生物に影響の強いカドミウム，シアン化合物について検査を行っていることを回答し，理解が得られた。
- ・ 7月に発生した西日本豪雨における水処理施設の運転状況について質問があり，浸出水の量が一時的に増加したが水処理施設の処理能力を超えることはなく，適正な運転が行われていたことを報告した。
- ・ 7月に発生した西日本豪雨における埋立地斜面の動きについて質問があり，わずかな変動は見られたが，対策を必要とする動きではなかったことや，斜面の変動に影響がある急激な地下水位の上昇もなかったことを報告した。